


第3次備前市総合計画・第2期総合戦略策定のための 基礎調査結果総括

2020（令和2）年7月31日



目次

1.備前市の状況.....	2
(1) 人口.....	2
(2) 財政.....	8
(3) 社会経済の動向.....	12
(4) 社会指標.....	14
(5) 市民・職員の意識.....	16
2.まとめ.....	22

1.備前市の状況

(1) 人口

(2) 財政

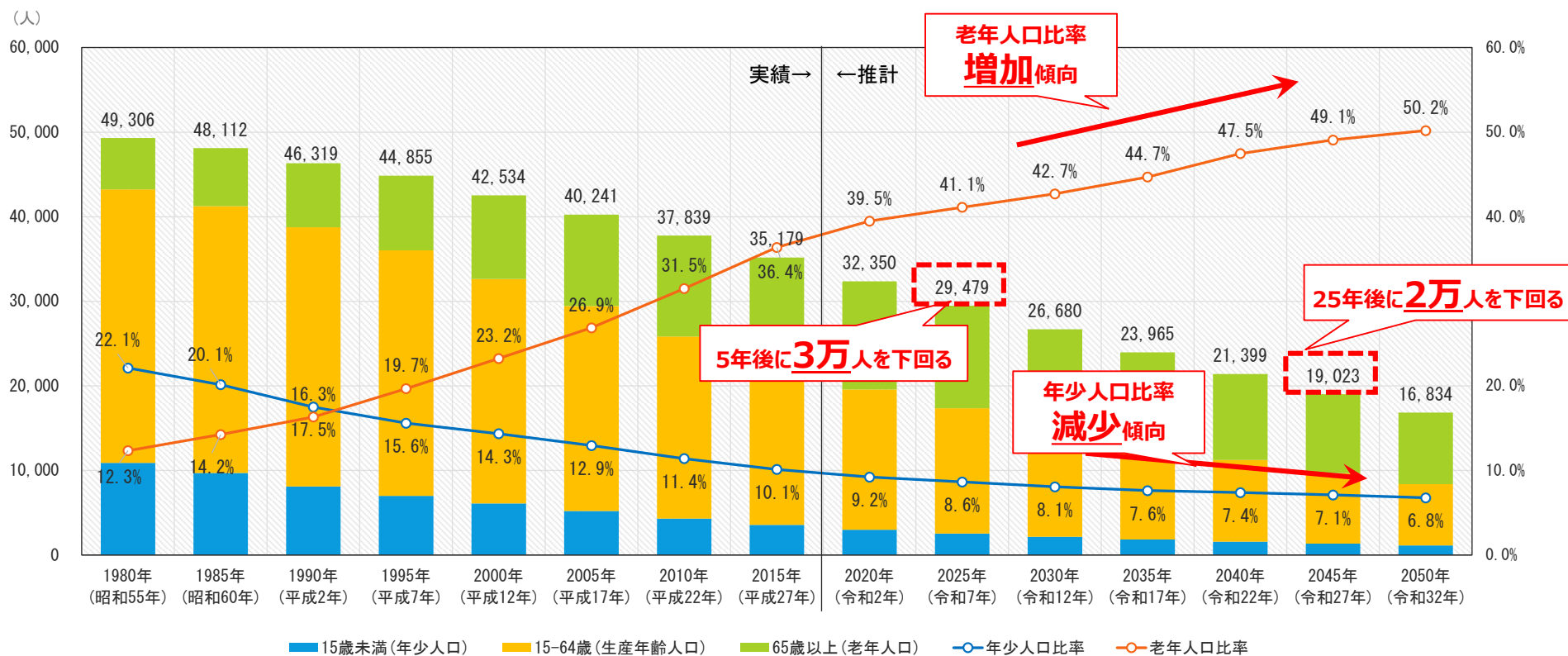
(3) 社会経済の動向

(4) 社会指標

(5) 市民・職員の意識

①人口の推移・推計

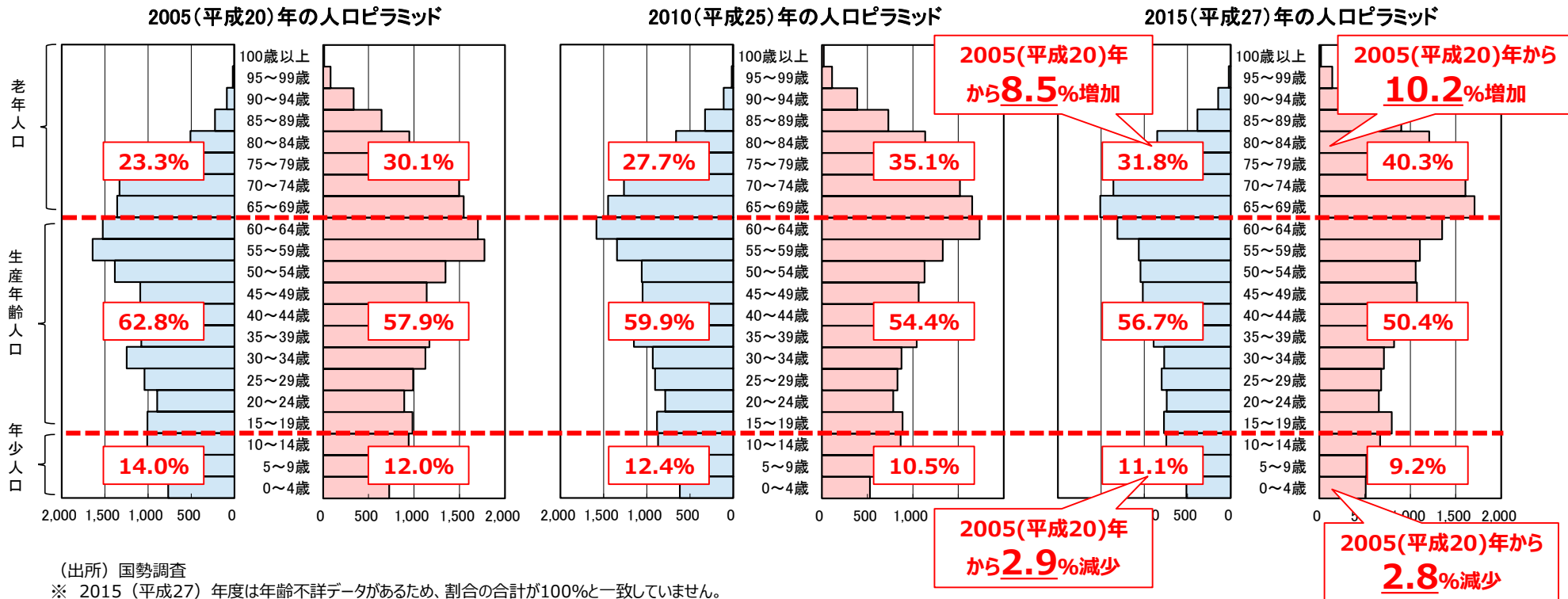
- 備前市の総人口は減少傾向であり、5年後の2025（令和7）年には3万人を下回ることが予測されている
- 老年人口比率は増加傾向、年少人口比率は減少傾向である



（出所）実績：国勢調査結果、推計：地方人口ビジョン策定のための手引き（令和元年12月版）に基づき算出

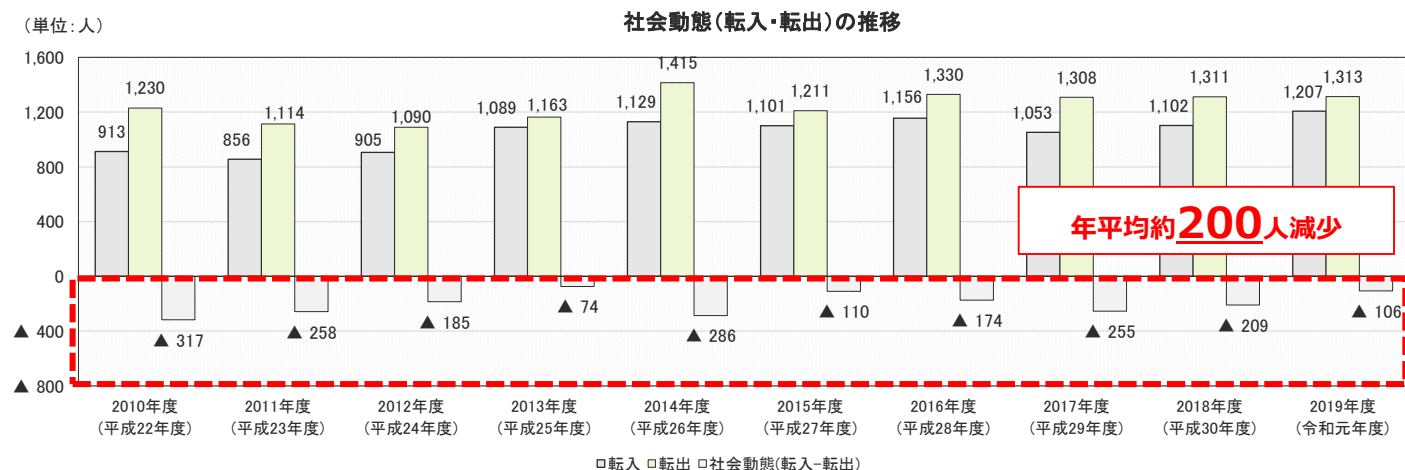
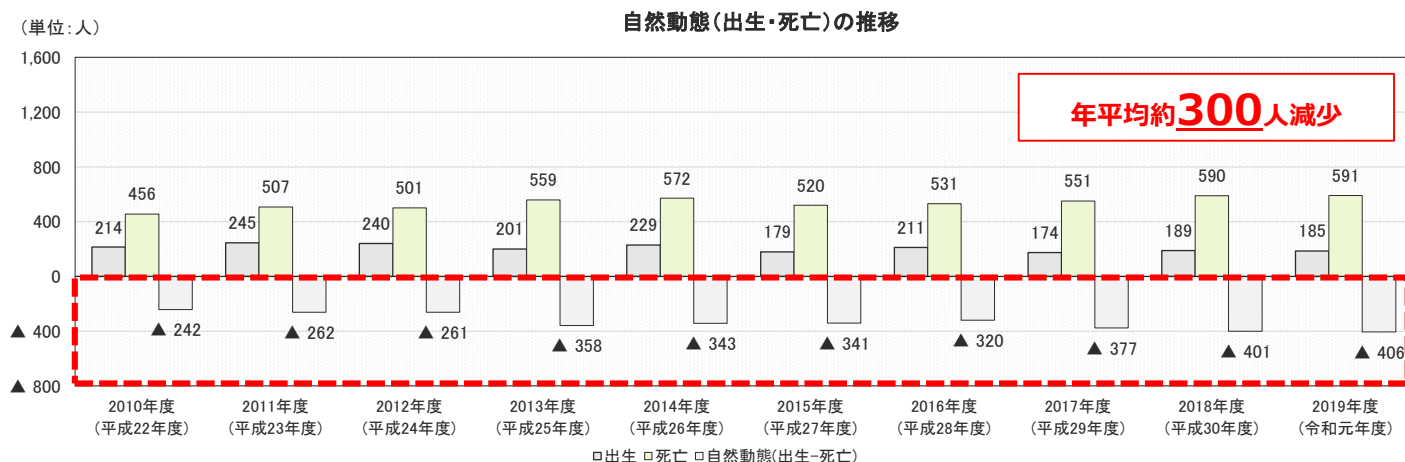
②年齢別構成の変化

- 15歳未満の年少人口及び15歳～64歳の生産年齢人口が減少している
- 65歳以上の老年人口は増加している



③人口動態（自然動態・社会動態）の変化

- 自然動態（出生・死亡）は、死亡数が出生数を上回っており、年平均で約300人減少している
- 社会動態（転入・転出）は、転出数が転入数を上回っており、年平均で約200人減少している

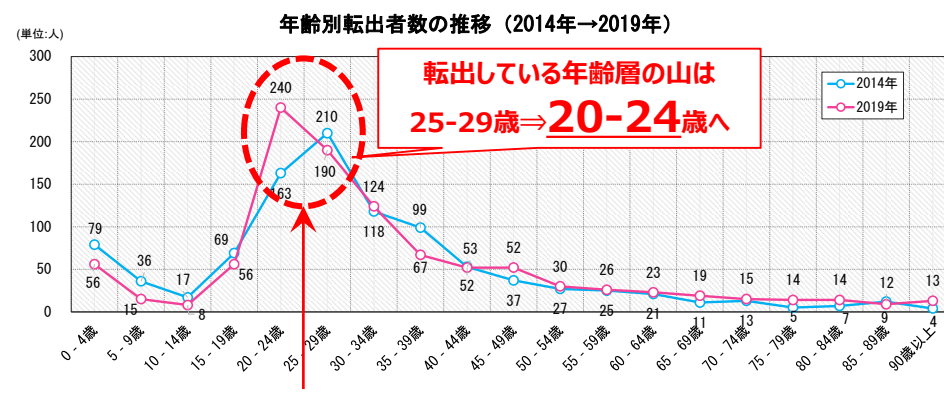
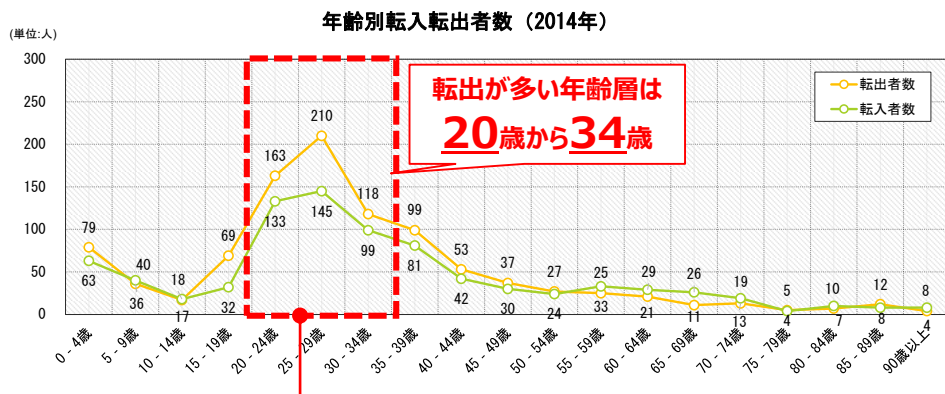


（出所）住民基本台帳

④人口動態（年齢別社会動態）の変化

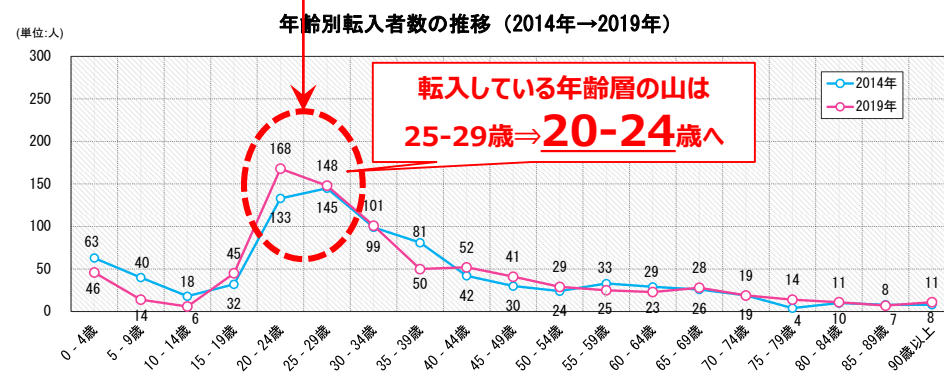
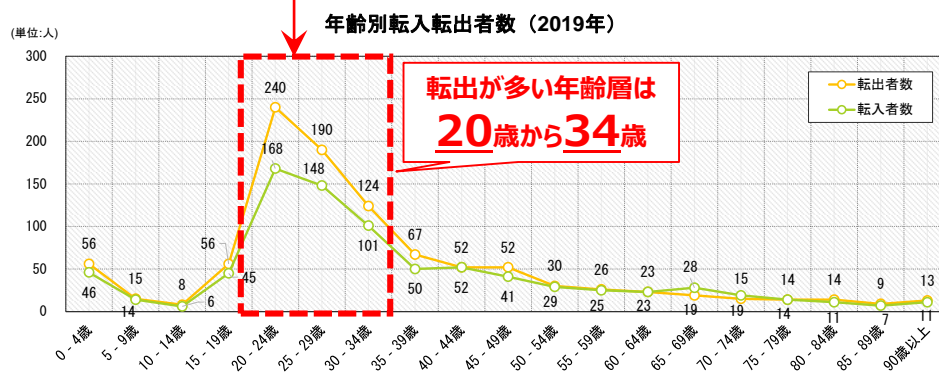
➤ 基礎調査結果（データ集）p.9

- 20歳から34歳までの年齢層の転出が多い
- 転出・転入をするタイミングが若くなっている（25-29歳⇒20-24歳へ）



転出が多い年齢層は **変化なし**

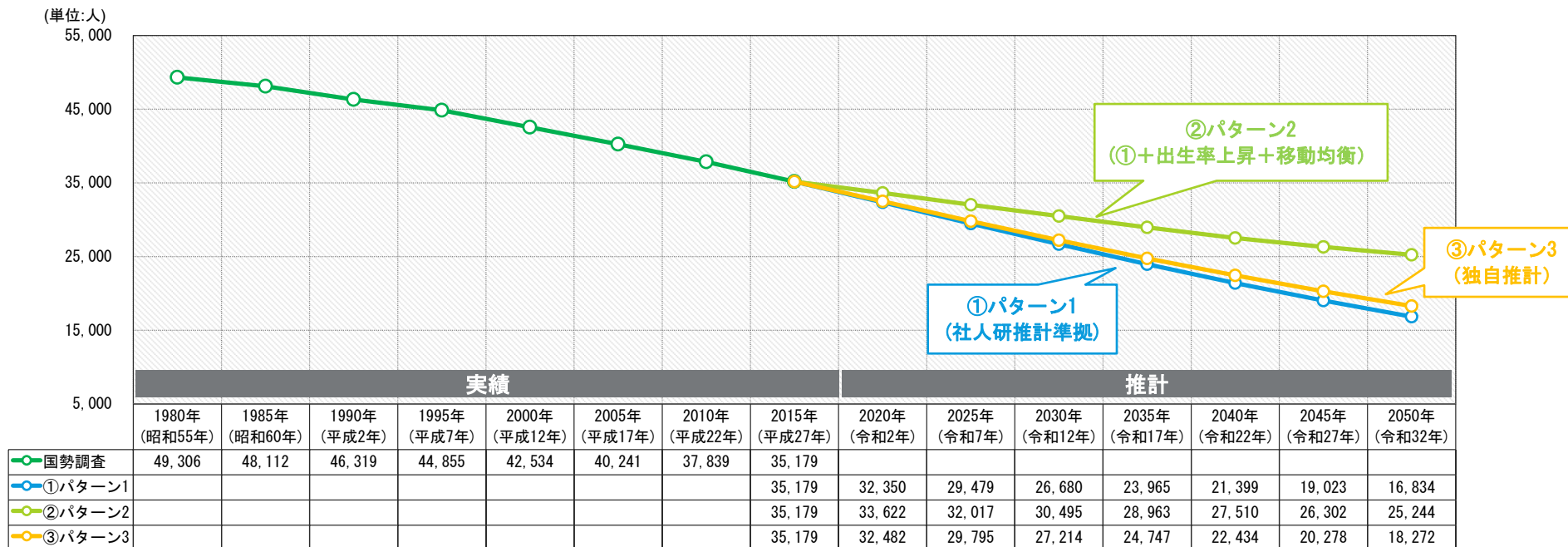
転入・転出するタイミングに **変化あり**



(出所) 住民基本台帳人口移動報告

⑤人口推計（パターン別）

- 現在の状況がこのまま続くと①、出生率が上昇し移動が均衡すると②、出生率が上昇し移動が現在の状況のまま続くと③



(出所) 地方人口ビジョン策定のための手引き（令和元年12月版）に基づき算出

①パターン1（社人研推計準拠）

- 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（2018（平成30）年推計）に準拠。平成25年の推計から移動の仮定が最近の傾向が今後も続く設定。

②パターン2（①+出生率上昇+移動均衡）

- 合計特殊出生率が2030（令和12）年までに人口置換水準程度（2.1程度）まで上昇し、かつ、（直ちに）移動（純移動率）がゼロ（均衡）になることを仮定。

③パターン3（独自推計）

- ①パターン1（社人研推計準拠）に合計特殊出生率が2030（令和12）年に1.8、2040（令和22）年に2.1まで上昇すると仮定。

1.備前市の状況

(1) 人口

(2) 財政

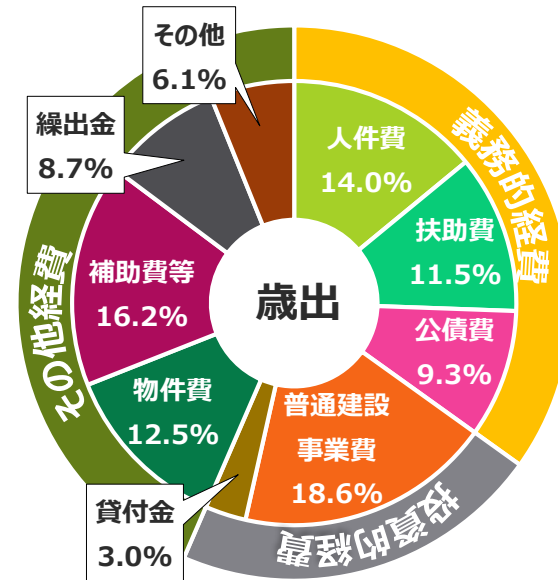
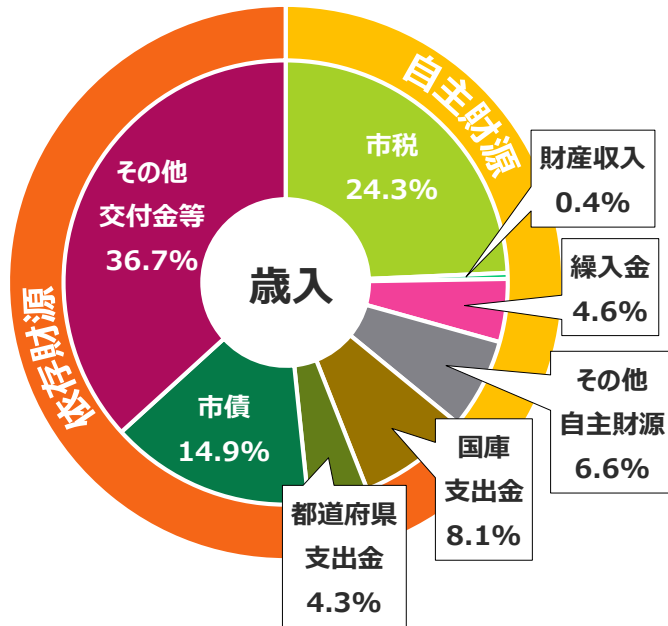
(3) 社会経済の動向

(4) 社会指標

(5) 市民・職員の意識

① 平成30年度の決算

- 歳入は、自主財源が4割、依存財源が6割で構成されている
- 歳出は、義務的経費（人件費・扶助費・公債費）が3割を占めている



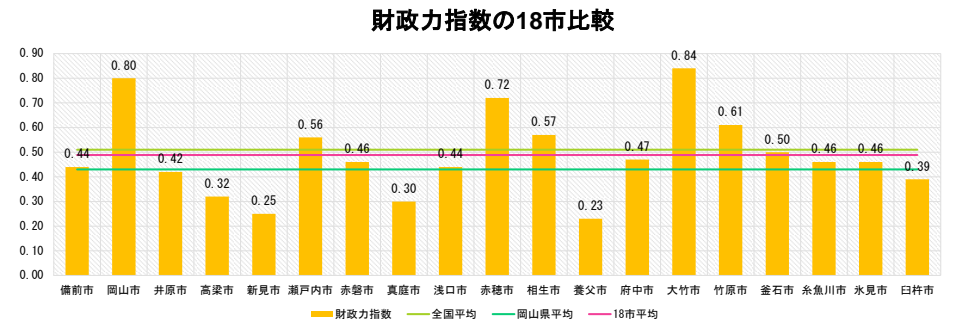
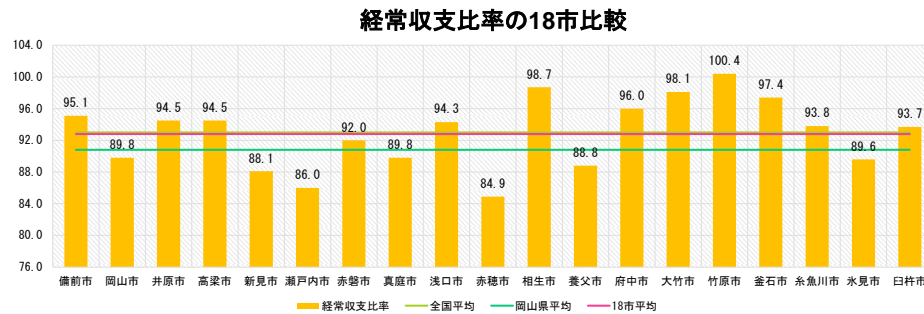
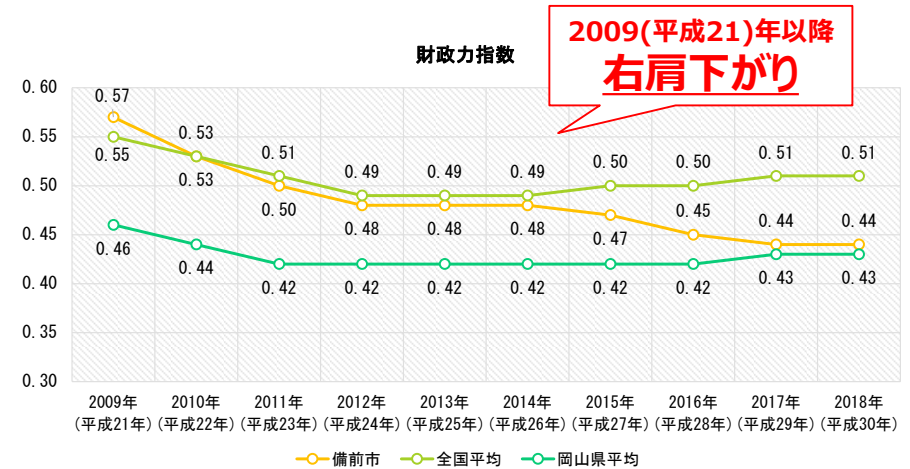
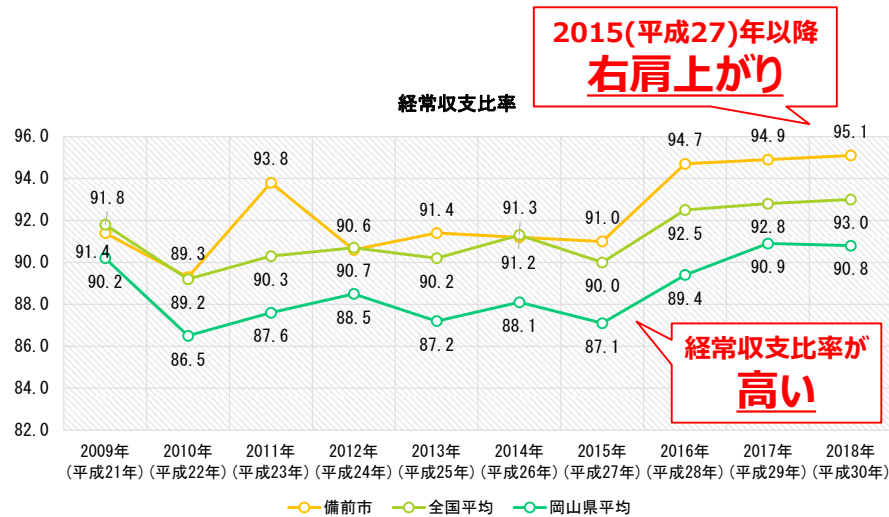
(出所) H30決算カード

② 財政指標

➤ 基礎調査結果（データ集）p.11,13

- 市税などの収入を人件費や公債費などの経常経費に充てている割合が高い（自由に使えるお金が少ない）

- 税金などの自主財源で賄えている割合が減少傾向にあり、不足分は国からの地方交付税交付金で補っている



(出所) H30決算カード

③健全化判断比率

➤ 基礎調査結果（データ集）p.12,14

● 備前市の借金返済額の負担は、全国平均・岡山県平均と比べて大きい

● 備前市の借金の将来世代への負担は、全国平均・岡山県平均と比べて小さい

借金の返済どのくらい？

-12.6%

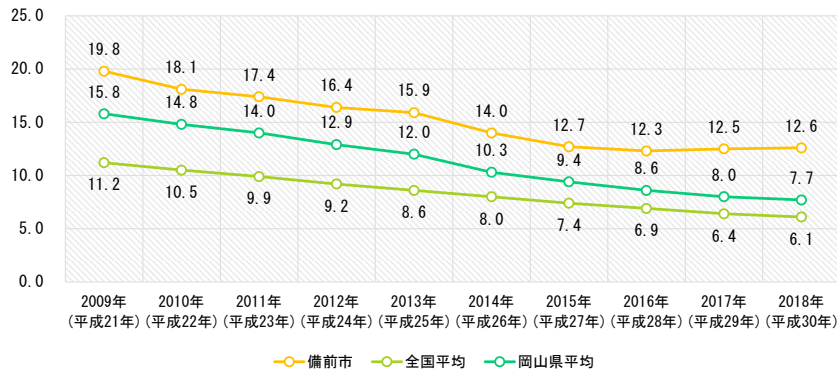
➤ 実質公債費比率は、市の借入金（地方債）の返済額（公債費）の大きさを、財政規模に対する割合で表したものを。備前市は、全国平均・岡山県平均と比べると借金の負担が大きい。

将来の世代に借金の負担はかからない？

-かからない

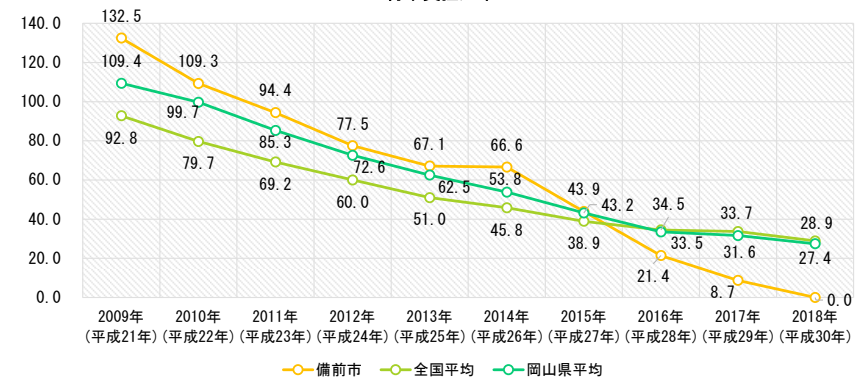
➤ 将来負担比率は、市が借入金（地方債）や契約などで支払いを約束したものと、現在抱えている負債の大きさを、財政規模に対する割合で表したものを。2018（平成30）年度末は将来の負担額を上回る財源があるため健全な状況である。

実質公債費比率



(出所) H30決算カード

将来負担比率



1.備前市の状況

(1) 人口

(2) 財政

(3) 社会経済の動向

(4) 社会指標

(5) 市民・職員の意識

① 社会経済の動向

➤ 基礎調査結果（データ集） pp.15-46

人口

- 総人口の減少
- 老年人口の増加・年少人口の減少
- 出生数の減少
- 平均世帯人数の減少・単独世帯の増加
- 平均寿命の延伸
- 外国人人口の増加

教育・文化

- 児童・生徒の減少
- 求められる資質・能力の変化（思考力・判断力など）
- 学校教育施設の老朽化

産業・経済

- 産業構造の変化（サービス産業化）
- 外国人観光客の増加
- 労働力人口の増加（女性・外国人など）
- 働き方改革の推進（労働環境の整備）
- IT技術（AI・RPA）の発展

健康・福祉

- 保健医療の価値向上、個人の主体的選択の支援
- 健康増進・健康寿命の延伸、予防施策の徹底
- 医療と介護の連携

生活環境

- 地球環境問題への関心の高まり
- 持続可能な開発目標（SDGs）への取組
- 新しい生活様式の受入

自然環境

- 自然災害（地震、台風、ゲリラ豪雨など）の増加
- 防災の事前対策・事後対応への関心の高まり

都市基盤

- 公共交通機関の利用者の減少
- 公共事業者の経営悪化
- 高齢運転者の交通事故の増加
- 日常生活に必要な移動手段の維持・確保

行政基盤

- 社会保障費の増加
- 公共施設の維持管理・更新の財政負担の増大
- 地方公務員数の減少

1.備前市の状況

(1) 人口

(2) 財政

(3) 社会経済の動向

(4) 社会指標

(5) 市民・職員の意識

① 社会指標

➤ 基礎調査結果（データ集） pp.48-56

人口

- 総人口の減少
- 老年人口の増加、年少人口の減少
- 転出者数の多さ
- 外国人比率の多さ
- 昼間人口の多さ

教育・文化

- 児童・生徒の減少
- 教育用コンピューター設備の充実
- 図書館の蔵書冊数・貸出冊数の少なさ

産業・経済

- 製造品出荷額等の高さ
- 製造業粗付加価値額の高さ
- 他市区町村からの通勤者数の多さ
- 労働力人口の少なさ
- 労働分配率の低さ

健康・福祉

- 病院数・診療所数の多さ
- 高齢者就業者数の少なさ
- 高齢者夫婦のみ世帯・高齢者単身世帯の多さ
- 老人クラブ加入者数の多さ

生活環境

- 道路交通事故死亡者数の少なさ
- 救急出動件数の多さ
- 空き家数の多さ

自然環境

- ゴミ処理量の少なさ
- 資源化の徹底・定着

都市基盤

- 可住地面積の狭さ（森林面積の広さ）

行政基盤

- ふるさと納税件数・額の多さ
- 税金の徴収率の高さ

1.備前市の状況

(1) 人口

(2) 財政

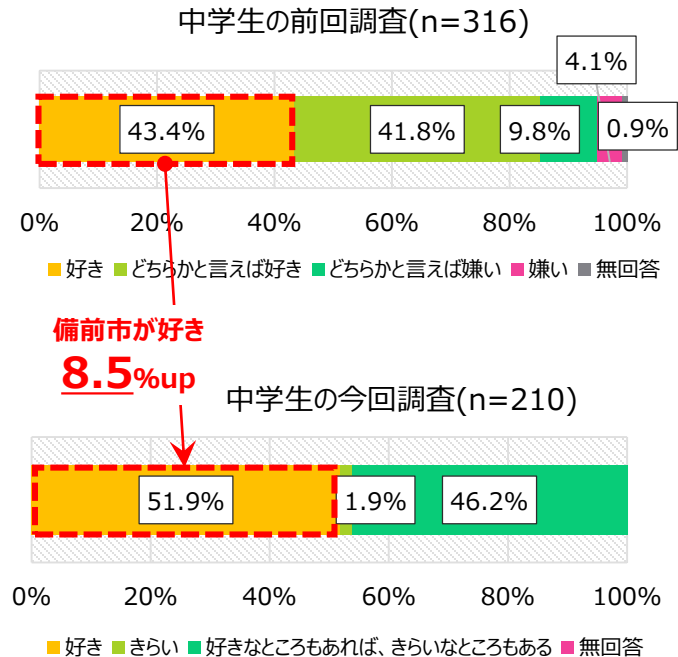
(3) 社会経済の動向

(4) 社会指標

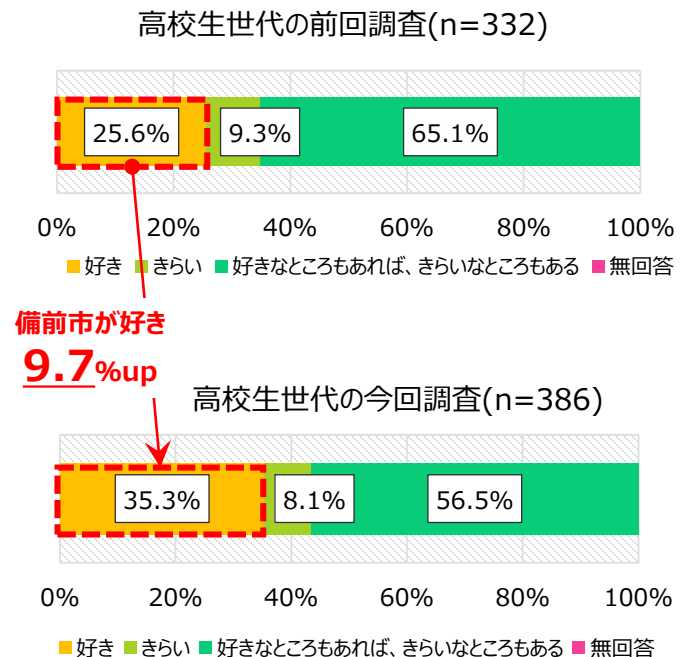
(5) 市民・職員の意識

① 備前市の愛着度（中学・高校）

- 前回の総合計画策定時と比べて、備前市の愛着度は中学生・高校生ともに高くなった
- 備前市の好きなところは、「自然環境の良さ」「気候が穏やか」などの理由が多い
- 備前市の嫌いなところは、「買い物の不便さ」「公共交通の不便さ」などの理由が多い



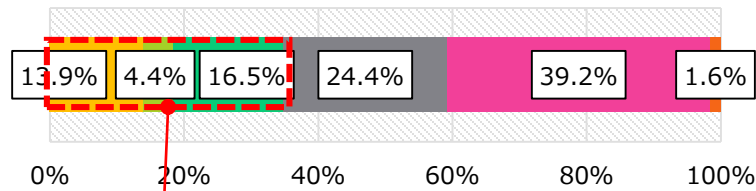
*中学生のアンケートは、前回と選択肢の設定を変更しているため留意



② 備前市への定住意向（中学・高校）

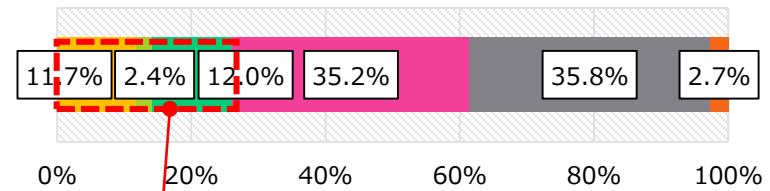
- 前回の総合計画策定時と比べて、備前市に住みたい（住み続けたい）と考えている割合は中学生・高校生ともに低くなった
- 備前市に住みたい理由は、「住み慣れたまちだから」「家族や友人がいるから」という意見が多かった
- 備前市に住みたくない理由は、「（近く）働きたい職場がないから」「（近く）進学したい学校がないから」という意見が多かった

中学生の前回調査(n=316)



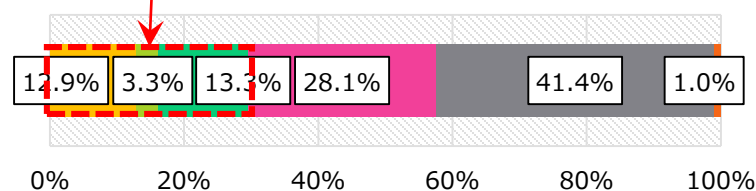
備前市に住みたい
5.3%down

高校生の前回調査(n=332)



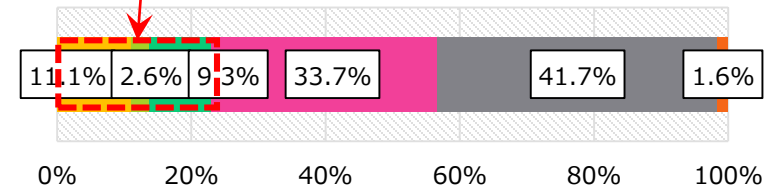
備前市に住みたい
3.1%down

中学生の今回調査(n=210)



今場所でずっと住みたい
市内の他の場所でずっと住みたい
進学や就職などで一時期は市外に住むことになると思うが、将来は備前市に住みたい
いずれ市外へ引っ越したい
わからない
無回答

高校生の今回調査(n=386)



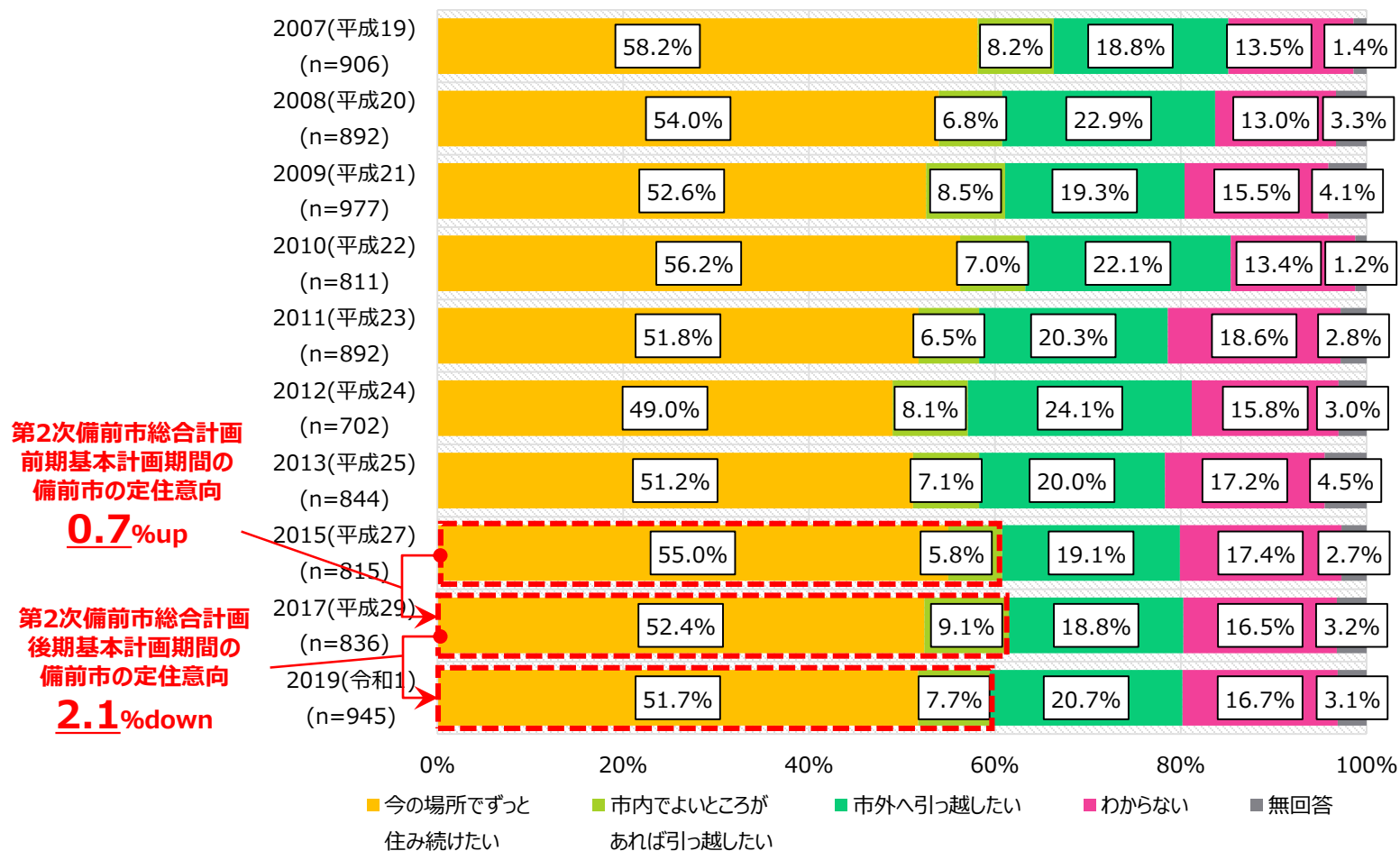
今場所でずっと住みたい
市内の他の場所でずっと住みたい
進学や就職などで一時期は市外に住むことになると思うが、将来は備前市に住みたい
いずれ市外へ引っ越したい
わからない
無回答

③ 備前市への定住意向（市民）

➤ 基礎調査結果（データ集）p.57
➤ 各年の市民意識調査報告書

- 備前市に住みたい（住み続けたい）と考えている市民の割合は、第2次備前市総合計画前期基本計画期間で増加した
- 備前市に住みたい（住み続けたい）と考えている市民の割合は、第2次備前市総合計画後期基本計画期間で減少した

市民の定住意向（2007（平成19）～2019（令和1））



④ 今後のまちづくりの課題（高校・職員）

- 備前市の今後のまちづくりの課題は、高校生・職員ともに「公共交通」が1位であった
- 前回の総合計画策定時と比べると、「行政運営」より「公共交通」の重要度が増している

高校生世代の前回調査(n=332)

順位	備前市のまちづくりに重要なこと	割合
1	税金が効率的に使われているまち	37.0%
2	公共交通機関が整備されたまち	33.4%
3	子どもが楽しんで学校生活をおくることができるまち	27.1%
4	高齢者が安心して暮らすことができるまち	19.3%
5	いつでも安心して医療が受けられるまち	17.8%
6	商・工業が活気のあるまち	17.5%
7	計画的に発展するまち	16.6%
8	安心して働くことができるまち	16.0%
9	生涯、健康に暮らせるまち	14.5%
10	住環境が快適なまち	14.2%

* 上位10位まで掲載（11位以降は別途アンケート報告書に掲載）

職員の前回調査(n=276)

順位	備前市のまちづくりに重要なこと	割合
1	行政運営改革	26.8%
2	企業誘致	25.7%
3	少子高齢化・人口対策	22.5%
4	組織運営	18.1%
5	高齢者福祉	6.9%
6	子育て支援	5.8%
7	公共交通	5.1%
8	商業・工業	5.1%
9	病院事業	4.3%
10	住宅	4.3%

* 上位10位まで掲載（11位以降は別途アンケート報告書に掲載）

公共交通機関が
整備されたまち

2位⇨1位

up

税金が効率的に
使われているまち

1位⇨3位

down

公共交通
7位⇨1位

up

高校生世代の今回調査(n=386)

順位	備前市のまちづくりに重要なこと	割合
1	公共交通機関が整備されたまち	35.5%
2	子どもが楽しんで学校生活をおくることができるまち	31.3%
3	税金が効率的に使われているまち	27.5%
4	いつでも安心して医療が受けられるまち	21.2%
5	安心して子育てができるまち	20.2%
6	計画的に発展するまち	19.4%
7	住環境が快適なまち	18.4%
8	高齢者が安心して暮らすことができるまち	16.8%
9	観光客が集うまち	16.1%
10	商・工業が活気のあるまち	14.0%

* 上位10位まで掲載（11位以降は別途アンケート報告書に掲載）

職員の今回調査(n=501)

順位	備前市のまちづくりに重要なこと	割合
1	「バス」や「JR」	27.1%
2	まちづくり	24.2%
3	医療	21.4%
4	「移住」と「定住」	17.4%
5	子育て支援	16.0%
6	「小学校」と「中学校」	15.2%
7	高齢者の方への支援	13.0%
8	「住居」と「分譲宅地」	12.0%
9	観光	11.8%
10	0歳～入学前のこどもの保育など	11.0%

* 上位10位まで掲載（11位以降は別途アンケート報告書に掲載）

* 前回は自由記述、今回は選択肢で設定しているため留意

⑤ 今後のまちづくりの課題（市民）

- 市民が考える備前市の今後のまちづくりの課題は、「公共交通」「高齢者支援」などの意見が多い
- 「公共交通」「高齢者支援」は、市の取組に対して一定程度評価されているが、課題認識は高い

順位	備前市の取組で評価できること	
1	0歳～入学前のこどもの保育など	24.3%
2	子育て支援	21.5%
3	「ごみ」と「リサイクル」	16.7%
4	「小学校」と「中学校」	8.0%
5	医療	7.8%
6	上水道	7.4%
7	「移住」と「定住」	7.0%
8	健康づくり	5.8%
9	「バス」や「JR」	5.8%
10	高齢の方への支援	5.3%
11	「消防」と「防災」	4.3%
12	「コミュニティ」や「町内会」	4.3%
13	「スポーツ」や「レクリエーション」	3.9%
14	「交通安全」と「防犯」	3.9%
15	夜間の定時制高校	3.6%
16	「公民館」と「図書館」	3.3%
17	「歴史文化」と「伝統文化」	3.1%
18	健康保険	2.9%
19	生涯を通じた教育	2.5%
20	地域情報化	2.4%

* 上位20位まで掲載（21位以降は別途市民意識調査報告書に掲載）

順位	備前市のまちづくりに重要なこと	
1	「バス」や「JR」	24.3%
2	高齢の方への支援	14.1%
3	道路	11.9%
4	医療	11.7%
5	「交通安全」と「防犯」	10.3%
6	「商工業」と「海運業」	8.9%
7	まちづくり	8.8%
8	「河川」や「土砂災害」	8.6%
9	「移住」と「定住」	8.0%
10	「農業」と「林業」	7.4%
11	観光	6.6%
12	子育て支援	6.2%
13	「住居」と「分譲宅地」	6.0%
14	下水道	6.0%
15	「小学校」と「中学校」	5.6%
16	「公民館」と「図書館」	5.6%
17	0歳～入学前のこどもの保育など	5.3%
18	上水道	5.3%
19	「ごみ」と「リサイクル」	4.9%
20	障がいがある方への支援	4.4%

* 上位20位まで掲載（21位以降は別途市民意識調査報告書に掲載）